

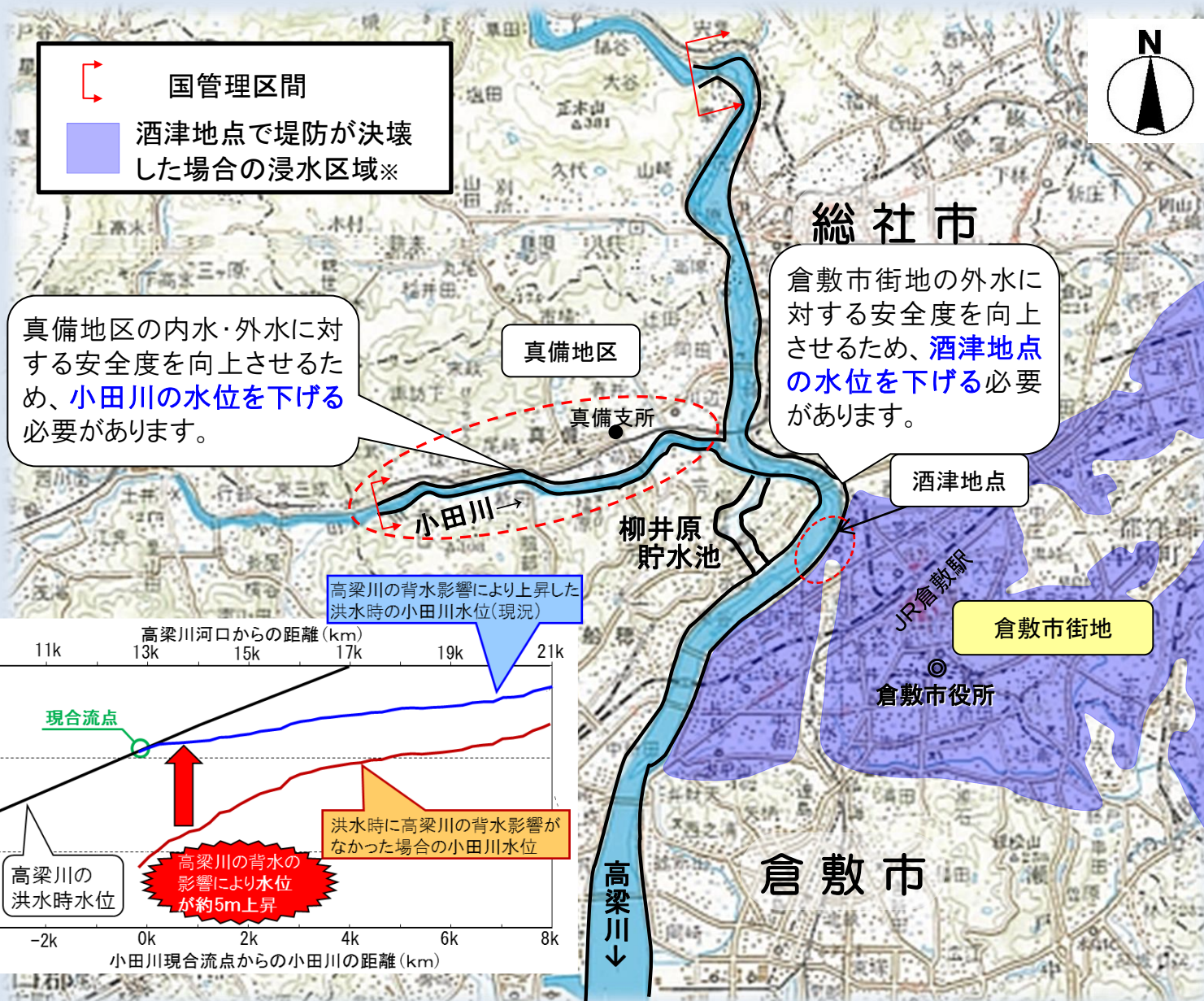
高梁川・小田川の沿川を洪水から守る 「小田川合流点付替え事業」



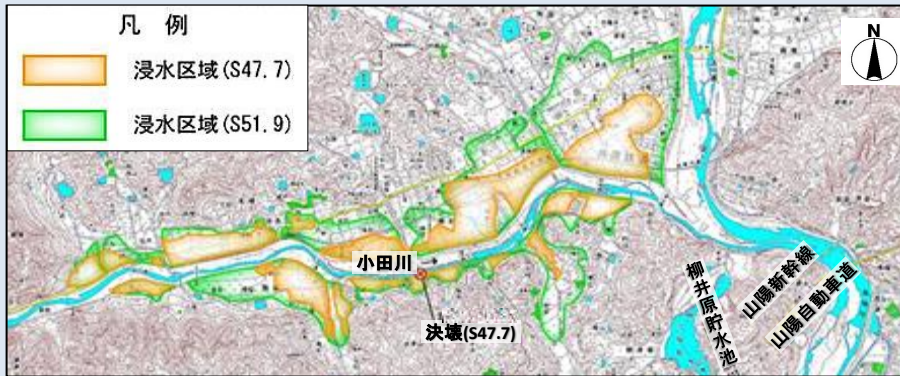
◎小田川合流点付替え事業の必要性

現在の小田川は、洪水時に高梁川の水が小田川に回り込み、小田川の流れが阻害され、水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。合流点付近に位置する**真備地区**では、洪水時に支川から河川への排水ができず、過去何度も内水被害を受けてきました。そのため、**小田川の水位を下げ、内水被害を防ぐ**必要があります。

また、流域で最も人口・資産が集積する**倉敷市街地**が背後に存在する**酒津地先**の安全度を向上させるため、**酒津地点の水位を下げる**必要があります。



※現時点において、計画規模の洪水が発生し、酒津地点の堤防が決壊した場合に想定される浸水区域を記載しています。詳しくは「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ) <http://suiboumap.gsi.go.jp/faq.html>」を参照ください。



小田川の内水氾濫状況 (倉敷市真備地区)

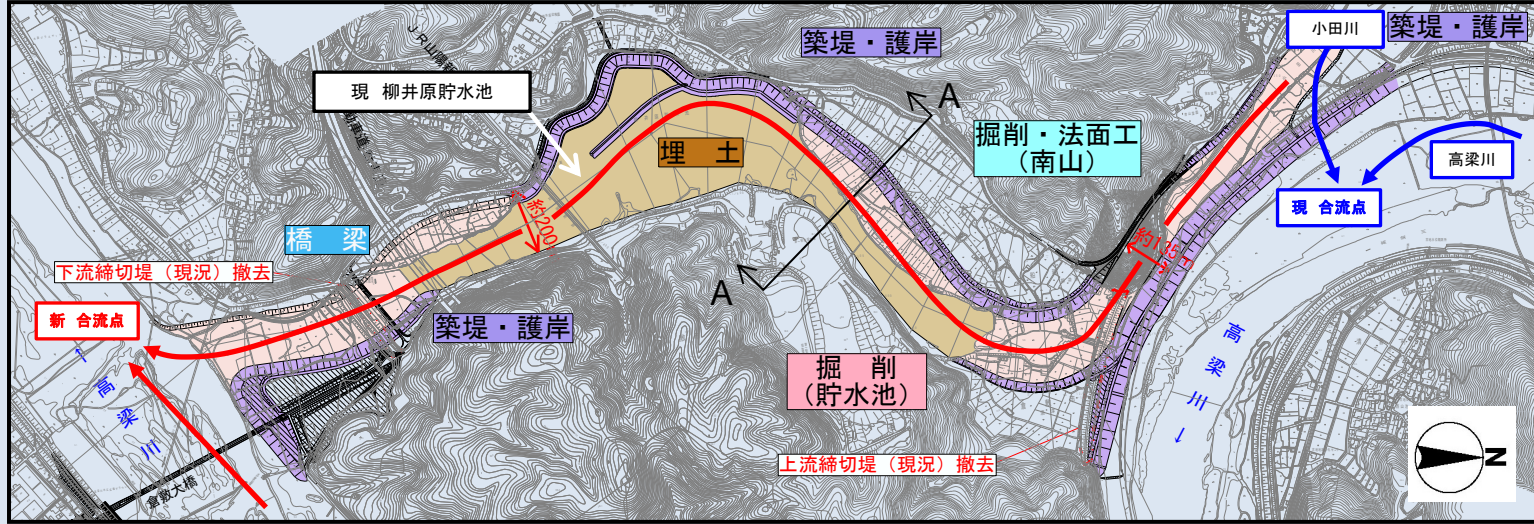
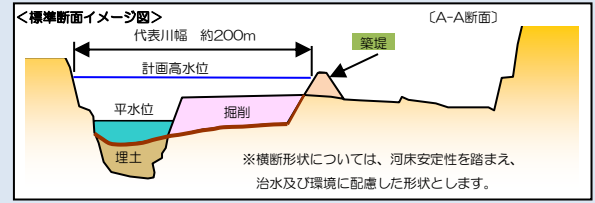
◎小田川合流点付替え事業の概要

事業内容

現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流へ付替え、小田川の沿川地域及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図ります。

主な工事内容

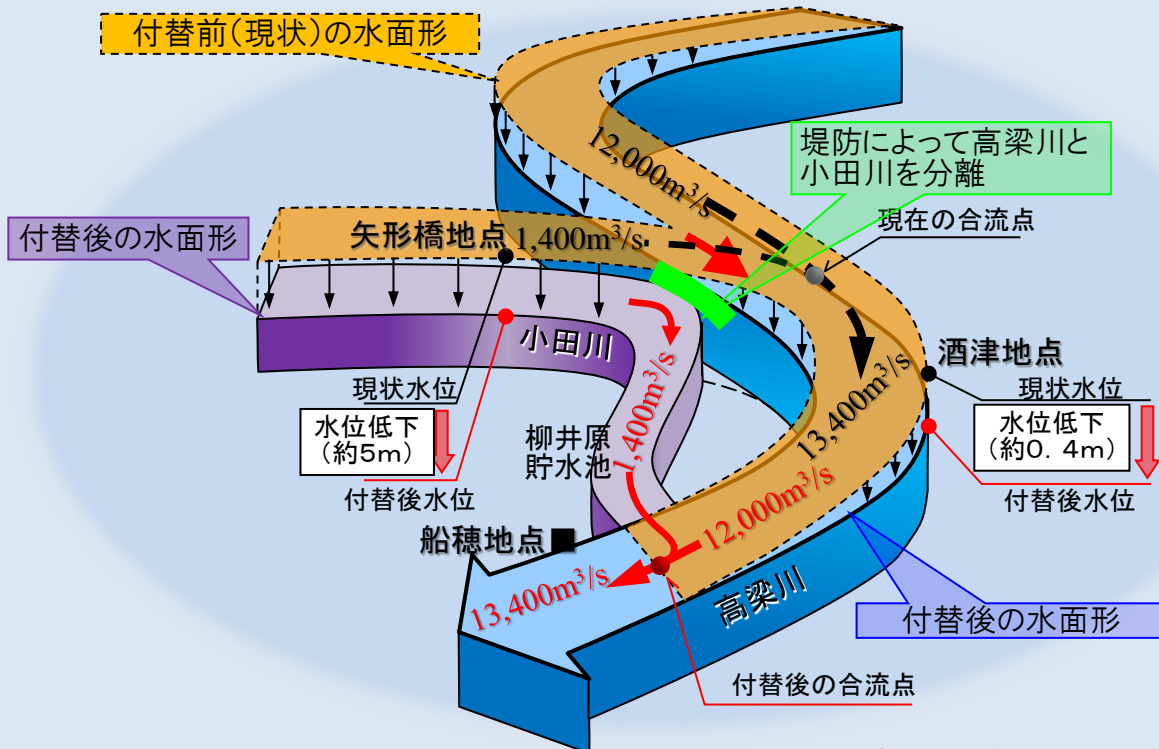
- 南山の掘削を行い、その土砂で築堤や貯水池内の埋土を行います。
- 現在の耕作地や上下流の締切堤を撤去し、小田川を付替えます。
- 下流の締切堤上を利用している道路を橋梁にします。



概略計画平面図(平成28年6月現在)

◎小田川合流点付替え事業の効果

- ◆洪水時に高梁川からの背水影響が減少し、**小田川の水位が現状より大幅に低下します。**
- ◆小田川を下流で合流させることにより、酒津地点の洪水位も低下し、**倉敷市街地の氾濫危険度を低減できます。**



※図中の13,400m³/sは、高梁川本川の治水計画において目標としている流量です。また、12,000m³/s及び1,400m³/sは、その際に各河川に流れる流量です。

◎自然環境への配慮

●環境影響への評価と保全

事業区域およびその周辺には、多種多様な動植物の生育・生息環境が広がっているため、これらの環境に配慮した事業を進めていきます。



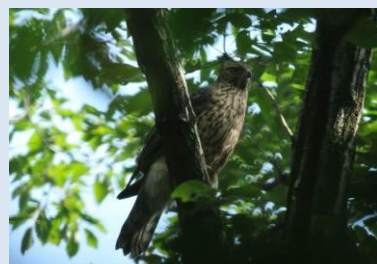
貯水池に繁茂するアサザ



小田川に生息するタナゴ類



水辺に生えるホソバイヌタデ



河川周辺の山林に生息する猛禽類

●多自然川づくり

事業により新たに創出される河川において、「多自然川づくり」の検討を実施しています。有識者や地元の方々からの意見をふまえ、環境面や親水面に配慮した川づくりを行います。

〈検討項目〉 ①アサザを保全するための環境の確保 ②タナゴ類の生育・生息環境などの創出



小田川合流点付替え後のイメージ(平成29年3月現在)

◎今後の予定

小田川合流点付替え事業は、柳井原地区・堅盤谷地区をはじめとした地元のみなさまのご理解、ご協力を得て事業を進めてまいります。

- ～平成29年度： 工事施工に必要となる調査・設計・検討
 - 平成30年度： 仮設工事着手予定
 - 平成31年度： 本工事着手予定
- 工事着手より概ね10年で完成予定

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

〒700-0914 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目4番36号

TEL(086)223-5101(代表) FAX(086)222-7835

事務所HP <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

